



2026年1月13日

各 位

会 社 名 **株式会社インテリックスホールディングス**

代表者名 代表取締役社長 俊成 誠司  
(コード 463A 東証スタンダード)

問合せ先 取締役 中拂 一成  
T E L 03-6809-0933

## 株式会社みらいホールディングスとの資本業務提携契約締結のお知らせ

当社は、株式会社みらいホールディングス（本社：名古屋市西区、代表取締役 磯部 悟、以下「みらいHD社」という）と、不動産業界の課題解決を通じた、両社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現を目指し、資本業務提携契約（以下、「本資本業務提携契約」という）を締結することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 本資本業務提携の目的

当社は、1995年の創業以来、主に中古マンションのリノベーションを手掛け、累計取扱戸数30,000戸を超えるリノベーションのトップランナーとして、「すべての人にリノベーションで豊かな生活を」をビジョンに掲げ、良質な中古住宅の供給を行ってまいりました。よりスピードを伴った成長を目指し、2025年12月1日に持株会社として株式会社インテリックスホールディングスを設立いたしました。不動産業界ではインフレの進行、AIをはじめとしたテクノロジーの進化といった不可逆な変化が起こっており、当社はこのような変化をチャンスと捉え、『リノベーションプラットフォーマー』を目指し、業務提携やM&Aを通じた事業共創を推進してまいります。

みらいHD社は、「人の“こころ”を大事にし、“みらい”に良い事を“つくる” “つなぐ”」というグループ経営理念のもと、みちびく事業として地方創生を軸に不動産クラウドファンディング「みらファン」を運営、もてなす事業としてマンスリーマンションは業界トップクラスの部屋数を運営、ホテル・温浴施設はエリア密着の多様なコンセプトで運営し、創業の地である名古屋市を起点に発展を遂げられております。

人手不足、資材価格の高騰をはじめ様々な課題が山積する不動産業界の活性化には、当社のリノベーションのノウハウに加えて、みらいHD社が有する、みちびく事業、もてなす事業で培われた運営ノウハウと営業基盤等が必要不可欠であると考えております。今後の取り組み（2. 資本業務提携の内容を参照）を通じて両社の強みを活かすことにより、業界が抱える課題を事業機会へ転換し、両社の更なる企業価値向上へ繋げてまいります。

#### 2. 本資本業務提携の内容

##### （1）資本提携

当社は、みらいHD社が新たに発行する第3種優先株式12,000株(300百万円)の割当を受けます。  
第3種優先株式の概要は以下の通りです。

発行価額	1株 25,000 円
株式種別	種類株式 (配当優先)
1株あたり優先配当額	1,563 円
議決権	あり

なお、みらいHD社での第3種優先株式発行の株主総会決議は2026年2月16日と予定されており、当該決議が可決されることを条件として、割当を受けることとなります。

(2) 業務提携

シナジー創出テーマ	みらいHD社取り組み	当社取り組み	具体的な効果
(1)保有不動産の最適運用	・当社保有の居住用物件を借上げ、宿泊施設等を運営 ・物件情報の共有	・物件仕入、情報共有 ・内装工事施工	相互に物件情報を共有することにより、みらいHD社の運営ノウハウと当社の内装ノウハウを融合させ、不動産の価値増大
(2)当社子会社（株式会社FLIE）のサービス導入	当社子会社のサービスを試験導入（予約・宿泊・キーレスによる宿泊の完全電子化）	試験導入に向けたAPI連携の開発などのソリューション提供	みらいHD社の運営効率・顧客体験向上と当社子会社サービスとの連携

現時点における具体的な提携案は上記の2点となります。新規事業の共同開発や不動産特定共同事業における新スキーム開発など、継続的に協議を重ねていくこととしております。

3. 本資本業務提携先の会社概要（2025年3月31日現在）

(1) 名称	株式会社みらいホールディングス		
(2) 本店所在地	愛知県名古屋市西区牛島町6番1号		
(3) 代表者の役職・指名	代表取締役 磯部 悟		
(4) 事業内容	事業持株会社		
(5) 資本金	91百万円		
(6) 設立年月日	2004年1月		
(7) 大株主及び持株比率 (%)	(株)みらいサービス		54.01
	名古屋中小企業投資育成株式会社		7.72
	磯部 悟		7.42
	その他		30.85
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	記載すべき事項はございません。	
	人的関係	記載すべき事項はございません。	
	取引関係	記載すべき事項はございません。	
	関連当事者への該当状況	記載すべき事項はございません。	
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（グループ連結）			
決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
純資産	941百万円	1,439百万円	1,953百万円
総資産	9,487百万円	10,762百万円	12,411百万円
売上高	6,537百万円	8,453百万円	9,764百万円
営業利益	243百万円	712百万円	928百万円
経常利益	199百万円	725百万円	864百万円
当期純利益	174百万円	507百万円	565百万円

4. 今後の見通し

本件による当社連結業績への影響は軽微であり、現在公表しております業績予想の修正はございません。今後の進捗により、公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上